



独立行政法人 農畜産業振興機構

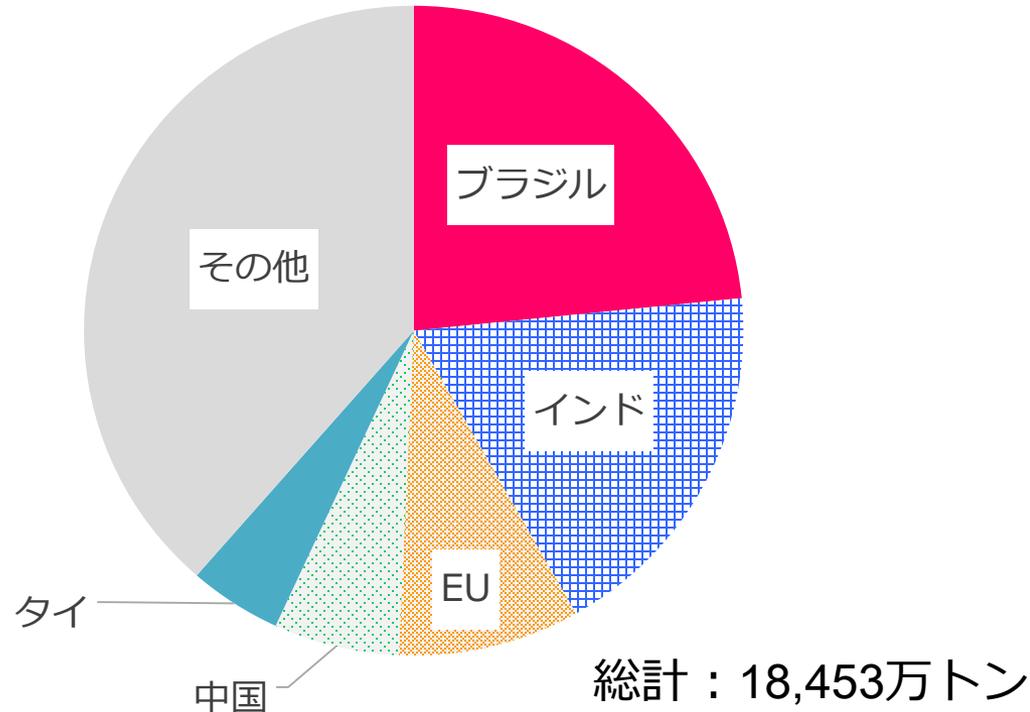
# インドにおける 砂糖の生産動向および 余剰在庫解消への取り組み

独立行政法人農畜産業振興機構

調査情報部 塩原 百合子

# インドの砂糖産業の位置づけ

2020/21年度の砂糖生産量



- 砂糖生産量は世界第2位

資料：LMC International 「Quarterly Statistical Update, September 2020」

注1：予測値。

注2：粗糖換算。

1. 砂糖の需給動向
2. 現在の課題と解決に向けた施策
3. まとめ

# 1. 砂糖の需給動向

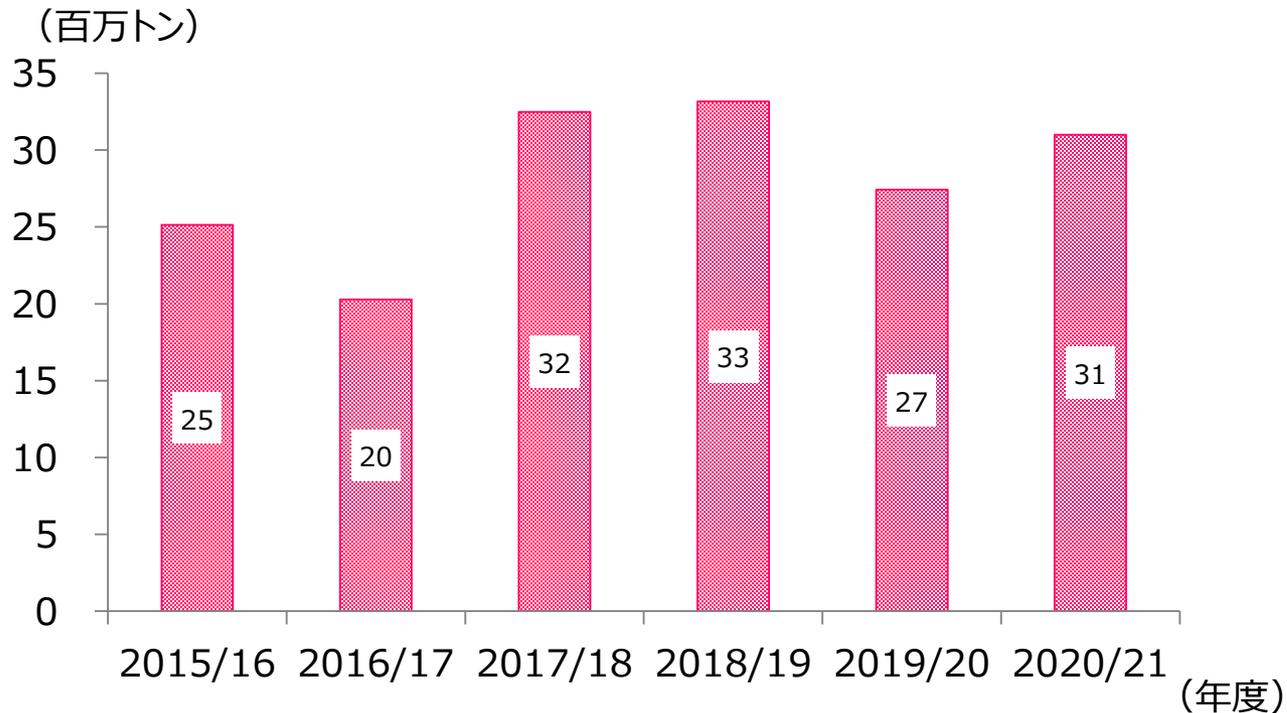
- 砂糖の生産動向 
- 砂糖の消費動向
- 砂糖の輸出入動向

# サトウキビの生産体系

- サトウキビ農家数は約**5000**万戸
- ほ場の平均面積は**1ヘクタール**以下で、大規模農家はわずか
- ハーベスタはあまり普及していない



## インドにおける砂糖生産量の推移



- 主に天候（降雨量）などの影響を受けて変動

資料：ISMAの資料を基に農畜産業振興機構作成

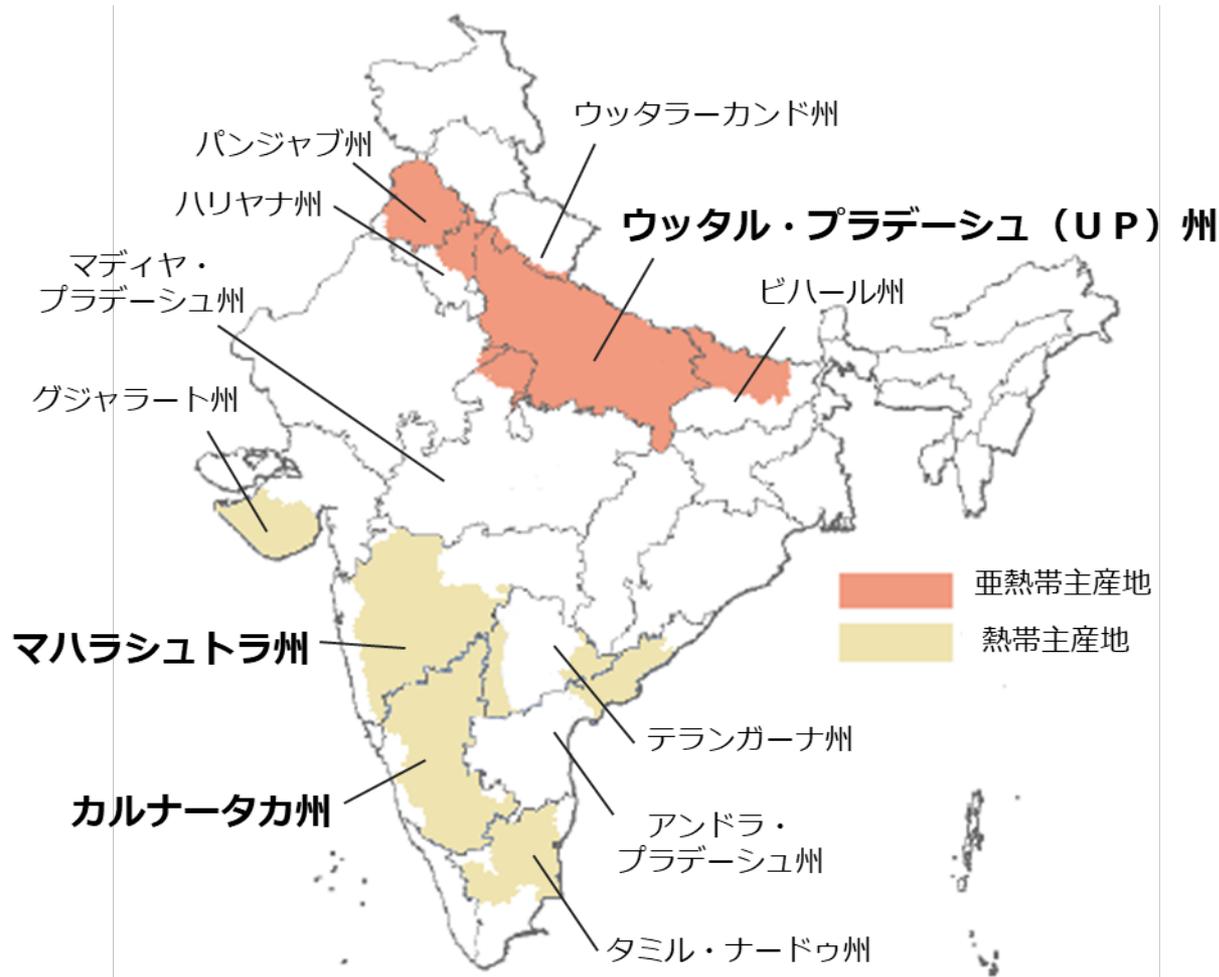
注1：インドの砂糖年度は10月～翌年9月。

注2：2020/21年度は予測値。

注3：精製糖換算。

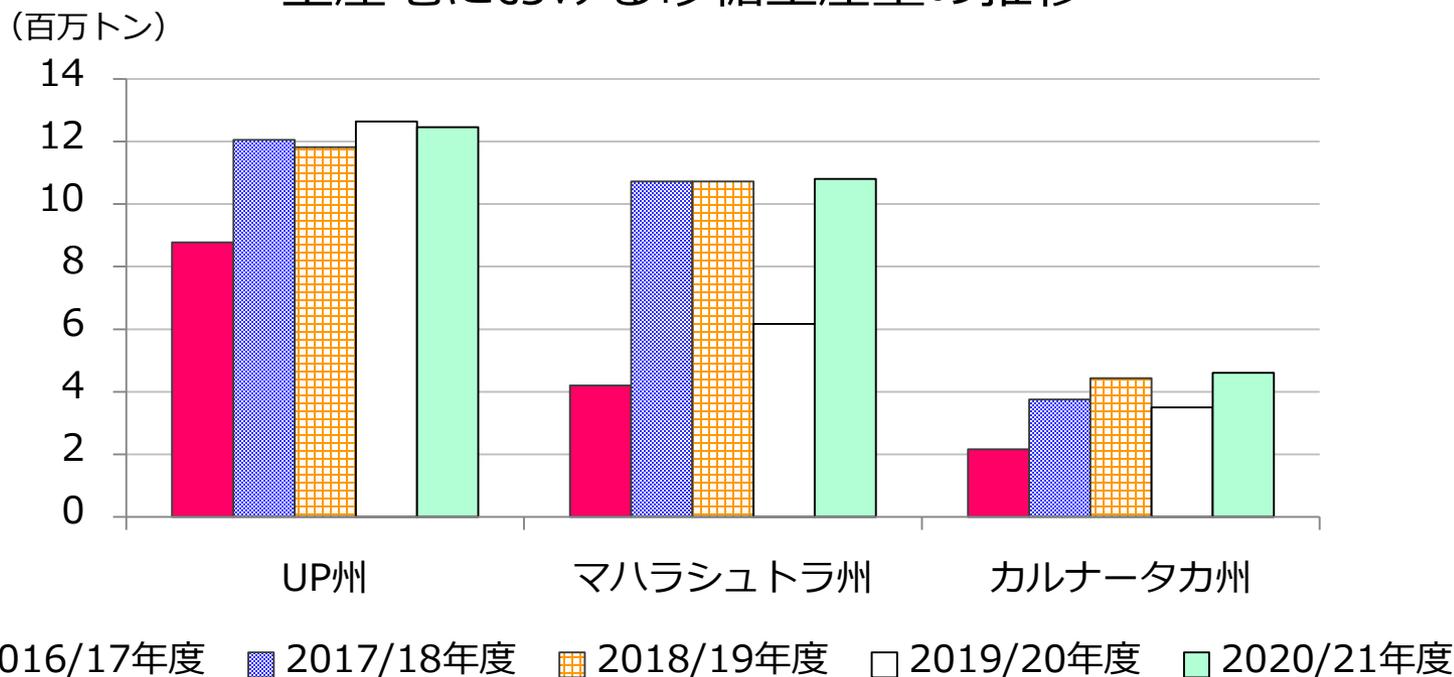
# サトウキビの生産地

## サトウキビ産地の分布



# 地域別の砂糖生産量

## 主産地における砂糖生産量の推移



- **UP州**は全体の生産量の**約4割**を占める
- 特にマハラシュトラ州の生産量の変動が大きい

資料：インド製糖協会（ISMA）の資料を基に農畜産業振興機構作成

注1：2020/21年度の数値は予測値。

注2：精製糖換算。

# 地域別の特色：栽培品種

- U P 州など北部ではCo0238
- マハラシュトラ州ではCo86032やCo0265



U P 州のほ場（Co0238を栽培）

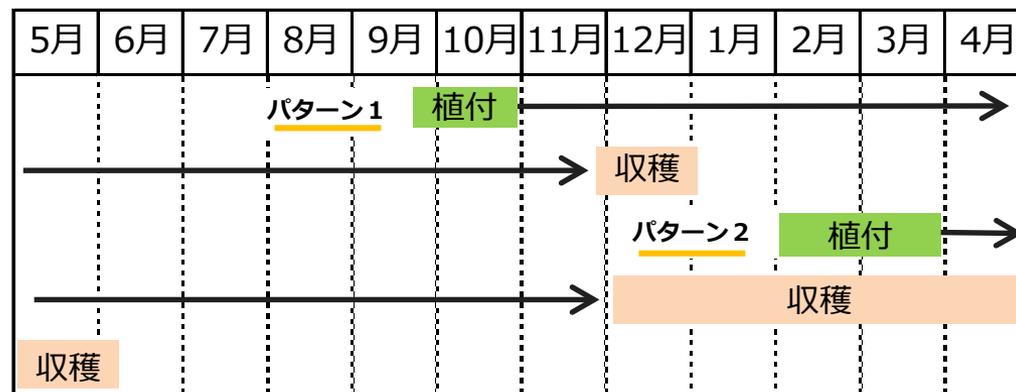


マハラシュトラ州のほ場  
(Co86032とCo0265を栽培)

# 地域別の特色：栽培方法

## 州別のサトウキビの作型

### UP州



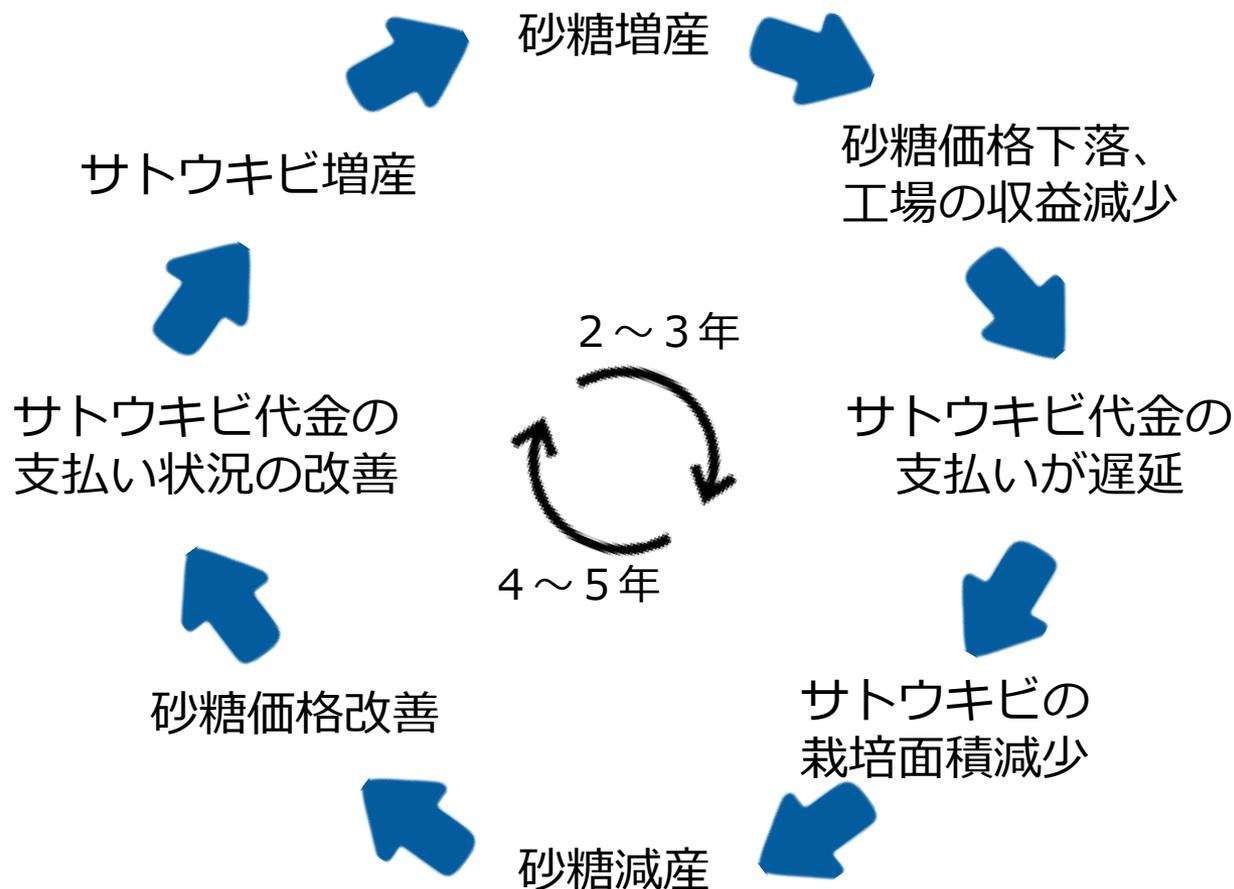
### マハラシュトラ州



- 作型も異なる
- 平均株出し回数  
UP州は**1回以下**、  
マハラシュトラ州は**2～3回**

# 砂糖生産：天候以外の因子

## シュガーサイクル

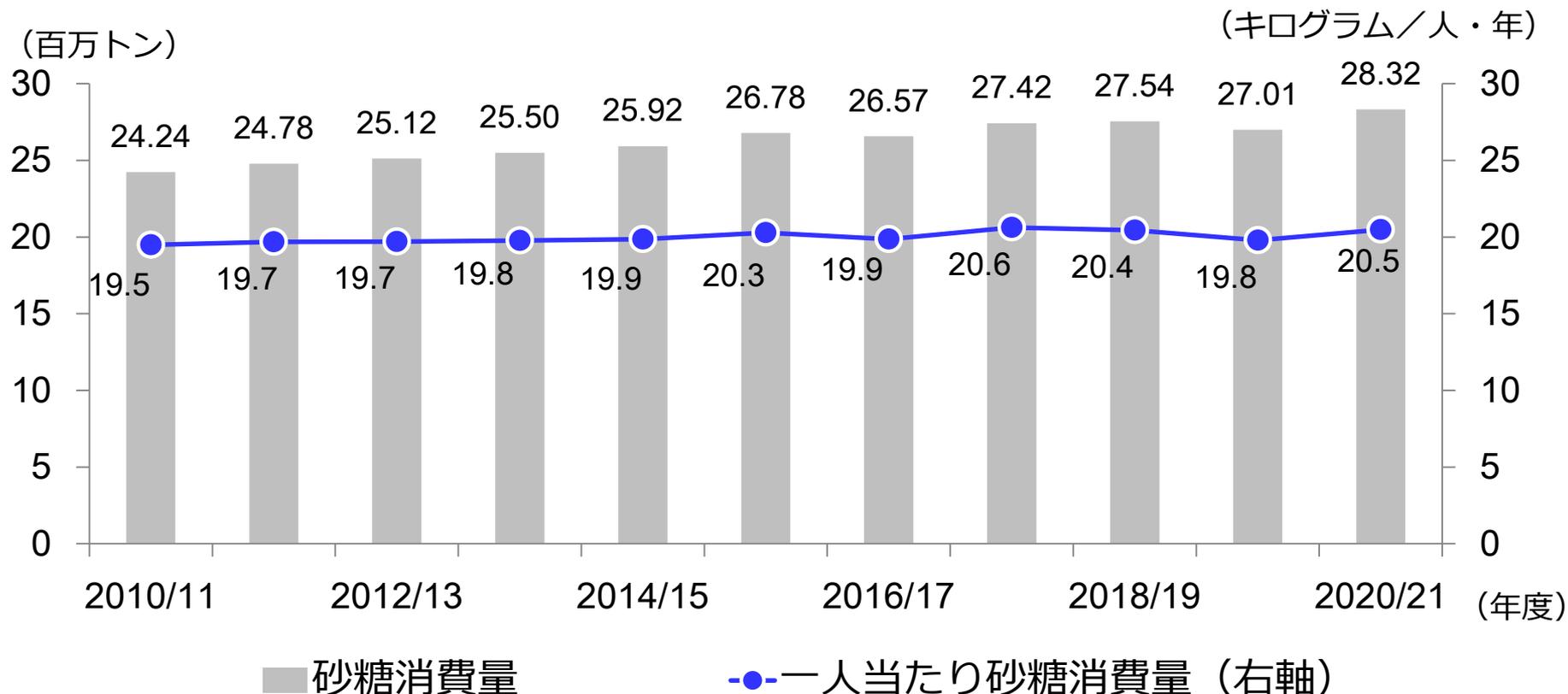


# 1. 砂糖の需給動向

- 砂糖の生産動向
- 砂糖の消費動向 
- 砂糖の輸出入動向

# 砂糖の消費動向①

## インドにおける砂糖消費量の推移



- 全体の砂糖消費量は緩やかに増加

資料：LMC International “Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2020”

注1：2018/19年度および19/20年度の数値は推定値、20/21年度は予測値。

注2：粗糖換算。

# 砂糖の消費動向②



スーパーマーケットの砂糖売り場



インドの白糖（粒度別）



グル（別名ジャガリー）

グルの製造の様子を機構facebookページからご覧いただけます。

URL:<https://ja-jp.facebook.com/261132491348534/videos/526026421385646/>

# (参考) グルの製造方法

## ①サトウキビの圧搾



搾り汁

バガス

乾燥させて  
燃料として使用

## ②煮熟

一番釜

石灰

アク・不純物

二番釜

三番釜

四番釜



ひしゃくで隣の釜へ移す



④型を取り外し完成

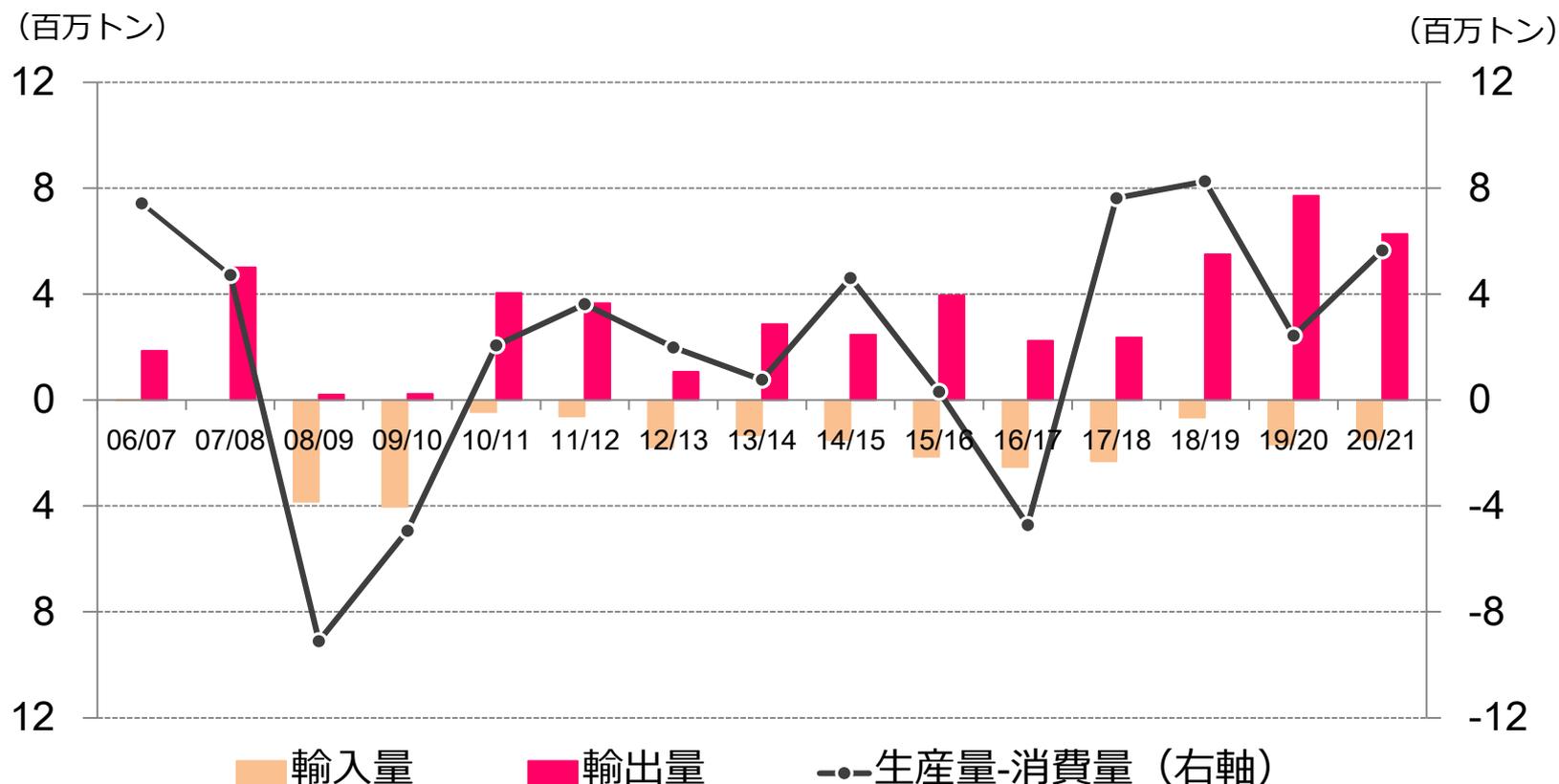


③型に充填

# 1. 砂糖の需給動向

- 砂糖の生産動向
- 砂糖の消費動向
- 砂糖の輸出入動向 

## インドにおける砂糖輸出入量の推移



資料：LMC International “Monthly Sugar Information in Major Countries, October 2020”

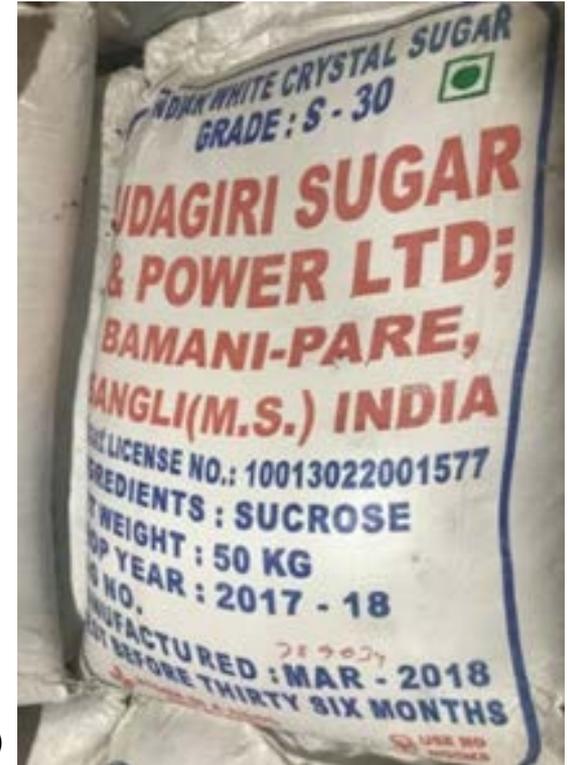
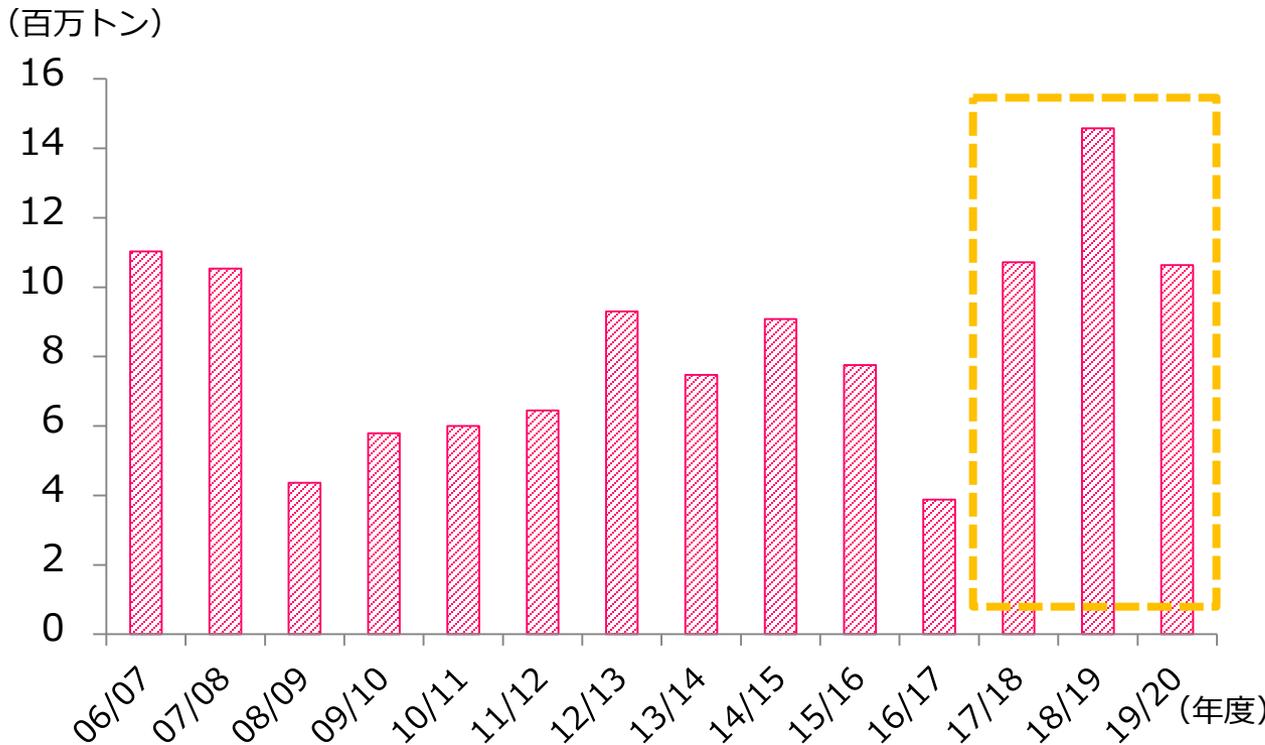
注1：2018/19年度および19/20年度の数値は推定値、20/21年度は予測値。

注2：粗糖換算。

## 2. 現在の課題と 解決に向けた施策

# 現在の課題：余剰在庫の発生

## インドにおける期末在庫量の推移



2017/18年度以降、

砂糖生産量が国内需要を大幅に上回る⇒**余剰在庫**が発生

資料：ISMAの資料を基に農畜産業振興機構作成

注：精製糖換算。

# インド政府が実施した施策

- (1) 砂糖の輸出促進
- (2) 砂糖の調整保管
- (3) バイオエタノール生産の推進
- (4) 砂糖のMSP (Minimum Selling Price) の設定

# (1) 砂糖の輸出促進-2017/18、18/19年度



- 2017/18年度：
  - ①輸入糖の関税率を50%から100%に引き上げ
  - ②砂糖に対する20%の輸出関税を撤廃
  - ③製糖業者に対し**200万トン**の最低輸出義務を課す  
(※罰則は設けられていない)
  
- 2018/19年度：
  - ①**500万トン**の最低輸出義務を製糖業者に課す
  - ②製糖業者が割り当て分を輸出した場合、  
サトウキビ代や砂糖の輸送費などの一部を  
インド政府が補助

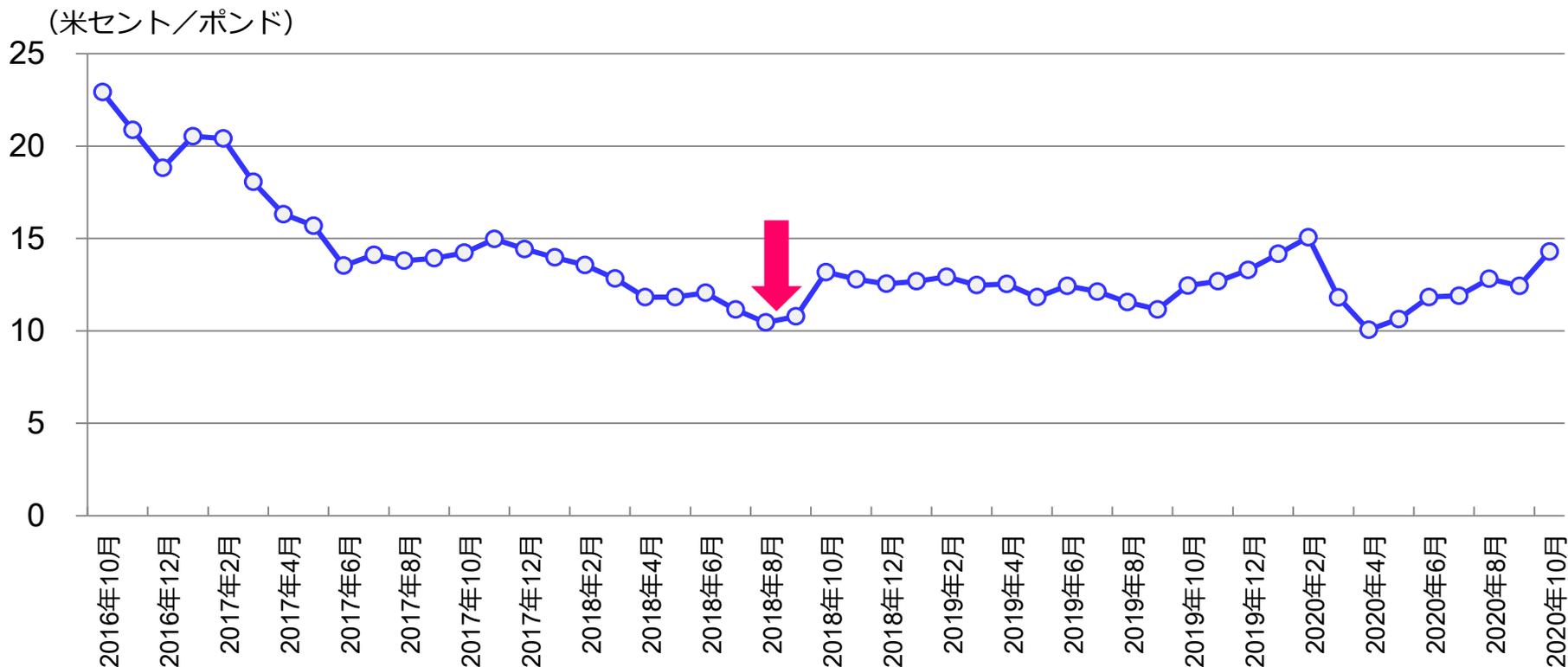
# (1) 砂糖の輸出促進-2019/20年度

- 2019/20年度：
  - ①製糖業者ごとに、合計**600万トン**の輸出目標を設定（砂糖の輸送費などを補助）
  - ②2020年1月以降、輸出目標を達成する見込みのある製糖業者に未達分の輸出枠を再分配

- 
- 第一四半期の輸出契約状況に基づき、目標の4分の1未達しか契約できていない製糖業者の輸出枠の一部を、既に目標の4分の3以上を契約し、枠の拡大を希望する製糖業者に1月31日までに再分配
  - 4月以降も直近の輸出状況を踏まえ、枠の再配分を繰り返した

# (1) 砂糖の輸出促進-他国への影響

## ニューヨーク粗糖先物相場（月平均）の推移



- インドの輸出政策発表などで、砂糖相場が下落
- ブラジル、豪州、グアテマラはWTOへ提訴

## (2) 砂糖の調整保管

- 2018年7月から翌7月末：**300万トン**規模の調整保管を実施
- 2019年8月からは対象数量を**400万トン**にまで拡大
- 調整保管によって主に市中への供給量が減少し、市場心理が改善されることで、砂糖の国内価格を回復させる狙い

# (3) バイオエタノール生産の推進

- 2018/19エタノール年度（12月～翌11月）から、**サトウキビの搾り汁**および**Bモラセス**を直接、バイオエタノール生産に仕向けることを許可
- サトウキビの搾り汁やBモラセス由来のエタノールの買い取り価格を、Cモラセス由来よりも高く設定

## 2017/18年度以降のエタノール買い取り価格の推移

	サトウキビの搾り汁 <sup>(注3)</sup>	Bモラセス	Cモラセス
2017/18年度	—	—	40.85ルピー (65.77円)
2018/19年度	59.13ルピー (95.20円)	52.43ルピー (84.41円)	43.46ルピー (69.97円)
2019/20年度	59.48ルピー (95.76円)	54.27ルピー (87.37円)	43.75ルピー (70.44円)

資料：インド石油・天然ガス省の資料を基に農畜産業振興機構作成

注1：1リットル当たりの価格。注2：年度は12月～翌11月（エタノール年度）。

注3：2019/20年度は、サトウキビの搾り汁のほかに砂糖とシロップも含む。

注4：1インド・ルピー=1.61円（2020年3月末日TTS相場）を使用した。

## (4) 砂糖のMSPの設定

- 2018年半ばから、製糖業者が卸売業者などに砂糖を販売する際の**最低価格（MSP：Minimum Selling Price）**を1kg当たり29ルピー（47円）とすることを義務付け
- 2019年2月には同31ルピー（50円）に引き上げ
- 実際の製糖コストは同35～36ルピー（56～58円）とMSPを上回っており、他事業で赤字を相殺する状況にある

# 3. まとめ

- インドの砂糖生産量は**天候**や**シュガーサイクル**の影響を受けて大きく変動
- **余剰在庫解消**に向けて、インド政府は様々な施策を打ち出した
- 製糖業者も、**バイオエタノール**など、他の事業への多角化を推し進めている
- 今後多角化が成功するか、輸出拡大へ進むか、注目される

# ご清聴ありがとうございました

## 【メールマガジンのご案内】

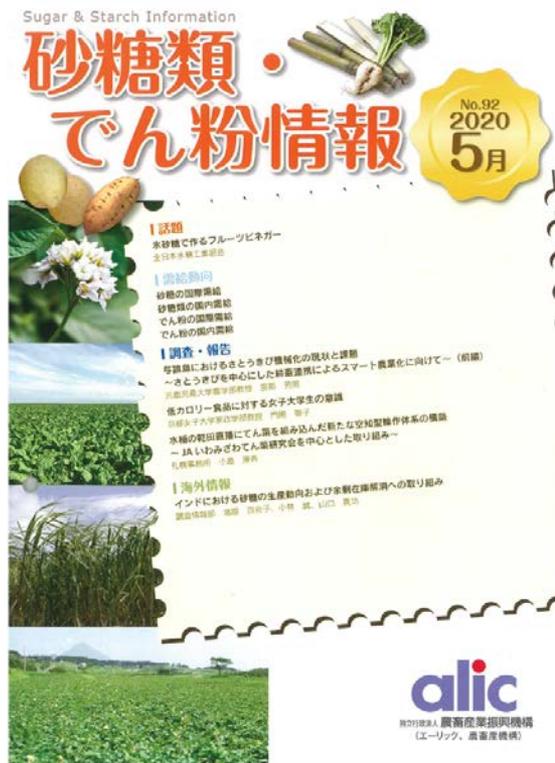
独立行政法人農畜産業振興機構は、情報誌「砂糖類・でん粉情報」を毎月発行し、ホームページでも提供しているほか、メールマガジンにより毎月2回、最新の情報を配信しています。

メールマガジンの配信を希望される方は、機構ホームページの「メールマガジン登録」からご登録ください。



本情報は、情報提供を目的とするものであり、取引、投資判断の基礎とすることを目的としていません。本資料の正確性の確認等は、各個人の責任と判断でお願いします。提供した情報の利用に関連して、万一、不利益が被る事態が生じたとしても、ALICは一切の責任を負いません。

# 『砂糖類・でん粉情報』 2020年5月号 「インドにおける砂糖の生産動向および 余剰在庫解消への取り組み」



alic 独立行政法人 農畜産業振興機構

ホーム | 機構について ABOUT alic | 情報公開 DISCLOSURE | 調達情報 CONTRACT | 採用情報 RECRUITMENT | 個人情報保護 PRIVACY

畜産 LIVESTOCK AND LIVESTOCK PRODUCTS | 野菜 VEGETABLES | **砂糖 SUGAR** | でん粉 STARCH

## 砂糖

砂糖分野の各種業務の情報、情報誌「砂糖類情報」の記事、統計資料など

ホーム > 砂糖 > 各国の砂糖制度 > インドにおける砂糖の生産動向および余剰在庫解消への取り組み

### インドにおける砂糖の生産動向および余剰在庫解消への取り組み

印刷ページ

最終更新日: 2020年5月11日

PDFはこちら

#### インドにおける砂糖の生産動向および余剰在庫解消への取り組み

2020年5月

調査情報部 塩原 百合子、小林 誠、山口 真祐

【要約】

- 砂糖トップ
- 砂糖の売買手続き
- 各種業務の実施に関する情報
- 砂糖価格調整制度概要図
- 生産者交付金の申請書類
- さとうきび生産者向け奨励品種一覧

広報・情報配信

URL: [https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07\\_002197.html](https://www.alic.go.jp/joho-s/joho07_002197.html)

※今回の講演では、データの一部を更新しております。